



11月になりましたね。

11月になりました。公園の落ち葉が赤や黄、オレンジへと姿を変え、お散歩やお出かけするのが楽しい季節になりました。ただ、この時期は、朝夕の寒暖の差が大きいので体調を崩しやすい時期でもあります。お子さんの体の様子や表情をよく観察して、お出かけしましょう。



この時期は、朝夕の寒暖の差が大きいので体調を崩しやすい時期でもあります。お子さんの体の様子や表情をよく観察して、お出かけしましょう。



～子育てワンポイントアドバイス～ ー子どもへの接し方は？ー

乳児期は、親子の結びつきが深まる大切な時期です。ミルクやおっぱいを飲ませたり、優しく語りかけたりしながら、愛情をたくさん注ぎましょう。赤ちゃんは、安心感と信頼感を強めていきます。

また、パパやママの“いらいら”や“なげやりな気持ち”は赤ちゃんに、不安感を与えます。いつも穏やかな気持ちで接するといいですね。

幼児期に入ると、子どもは何でも一人でやろうとします。これは“成長するエネルギー”です。色々なことに挑戦し、頑張っている時には、結果がどうあれ、「がんばったね」「良くできたね」など、体に触れたりしながら笑顔でほめましょう。

パパやママが嬉しいと思ったことは、素直に子どもに伝えましょう。子どもは、“またやってみよう”と新しいことへ挑戦します。“ほめる”ことは“認める”ことです。子どもは自信がつき、やる気もおきます。家族みんなで、大いにほめてあげるといいですね。



～ 子育て支援センター「でんでんむし」の10月のイベントから ～



第4回「ママカフェ」 8日(木)

今回は、17名の参加でした。3密に配慮しながらも楽しんでいただけたよう、席の配置に気をつけての開催でした。短い時間の中にも、お菓子をつまみ、お茶やコーヒーをいただき、子どもたちの素敵な笑顔、そして楽しい語らい…。この日、1歳のお誕生日を迎えたお子様もいらして、ホットするひとときを楽しんでいただきました。



「子育て講話」22日 ～つなぎ・育む関係づくり～

今回の講師は、佐賀女子短期大学の白濱洋子先生でした。講話では、「3歳頃までの関わりが生きていく土台となること」、また“スマホ・ゲームの脳への影響、ゲーム障害の話”、“いつの世も子は宝…たくさん抱きしめて、たくさんの言葉かけ、愛情を注ぎ、繋がりが、心豊かな心・思いやりのある優しい心を持った子どもを育てましょう”など、涙あふれる事例を交え、心に響く講演でした。参加者からも「私もついスマホを見ながら子どもをあやしています。気をつけたいいけないですね…」「これからも愛情いっぱい注いでいきたいと思います」など、かなり好評でした。



多久ケーブルメディアの取材(収録)。



今月のメニュー



- 1～7日 はたけへGO！(いも掘り)
- 12日 食育相談会 14:30～15:30
・講師:佐賀女子短期大学 西原由紀先生
- 13日 子育て講話 10:30～11:30
・演題:「身近なものを使って親子で遊ぼう」
・講師:佐賀女子短期大学 小川鮎子先生

- 15日 スマイルフェスタ 10:00～14:00
- 17日 おたんじょうびおめでとう ※児童館と合同
- 18日 第3回赤ちゃん広場 10:30～11:30
・内容:「保育園、認定こども園への就園について」
※ファミリー・サポートセンター、利用者支援事業との共催
☆連絡先:多久市児童センター内「子育て支援センター」☆
[Tel 0952-37-1117](みんな・いっしょに・いいな)

